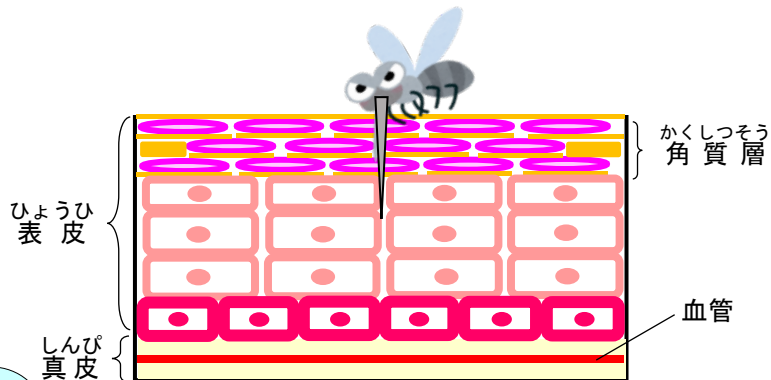
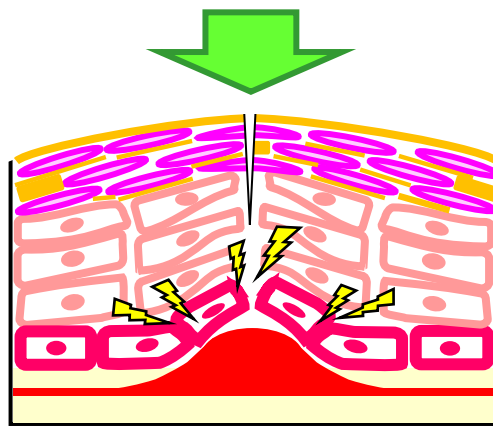


蚊に刺されたときの対処法



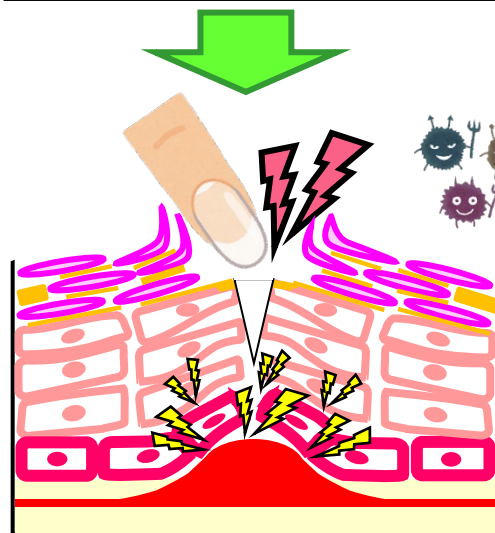
血管が広がり、刺された部位が赤く腫れる。かゆみも伴う。



早めに市販のかゆみ止めを使うとよいでしょう。

腫れがひどくかゆみ強い場合は、ステロイド入りのかゆみ止めを使うとよいでしょう。

か掻くことで、腫れがひどくなったり、かゆみも強まる。また傷口も広がってしまう。



傷口が広がると、感染症を起こすことがあります。

蚊やブユ（ブヨ）などに刺されやすい人は、虫除け剤を使いましょう。虫除け剤は肌の露出部分にムラなく塗ること（手で塗り広げるとよい）、また汗をかいたら塗り直すことがポイントです。

虫除け剤の成分には①『イカリジン』と②『ディート』の2種類があり、①は蚊、ブユ、アブ、マダニしか効果はありませんが、肌への影響は②より小さいです。①②ともに濃度の高い製品は、効果は同じですが、持続時間は長めです。虫除け剤はスプレーよりもミストやジェルタイプがおすすめです。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレター、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで！
8月16日 11時45分～13時00分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授（学校薬剤師） 大柳賀津夫
北陸大学薬学部薬学科5年生 村中佑晟・木山美佳